

令和4年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山大学

代表学生：星野 正樹

指導教員：野澤 豊一

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>滑川市の宿場回廊における景観の保存・活用にむけた基礎調査</p>
<p>研究概要</p>	<p>滑川市の宿場回廊は、宿場町として賑わった当時の歴史的景観を今でも色濃く残す地域である。本研究では宿場回廊内の景観保存の意味合いもかねて空き家の利用を促進することを提言する。</p>
<p>これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>これまでの活動として、滑川市の宿場回廊において、①空き家を利用した店舗のオーナー、②宿場回廊の地域に以前より住む住民、③空き家利用のアシスト役である不動産屋などに聞き取りを行った。その結果、空き家が多い理由の一つとして、地上権が永代であるという滑川市特有の性質が関わっていること、交通網が時代とともに変化し若者が外に出ていき帰ってこない現状であるということが分かった。また空き家を利用したユニークな店が多く開かれているのは、宿場回廊の中でも瀬羽町が多いことが判明した。しかし、宿場回廊での空き家は瀬羽町以外の町でも多く見られる。そこで今後は、瀬羽町だけでなく他の町での空き家をどういった風に利用し、景観を保全していくのか明らかにしていきたいと考えている。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	



フィールドワーク(聞き取り調査)の様子



宿場回廊（瀬羽町）の歴史的景観



瀬羽町で行われているベトラムランタンまつり